



絵本を色々山  
下

千 5  
3624  
3 止



利  
3624  
巻 3止



小倉色

紙の写

河内園

小田村

浄蓮

法十郎

上方

家

義

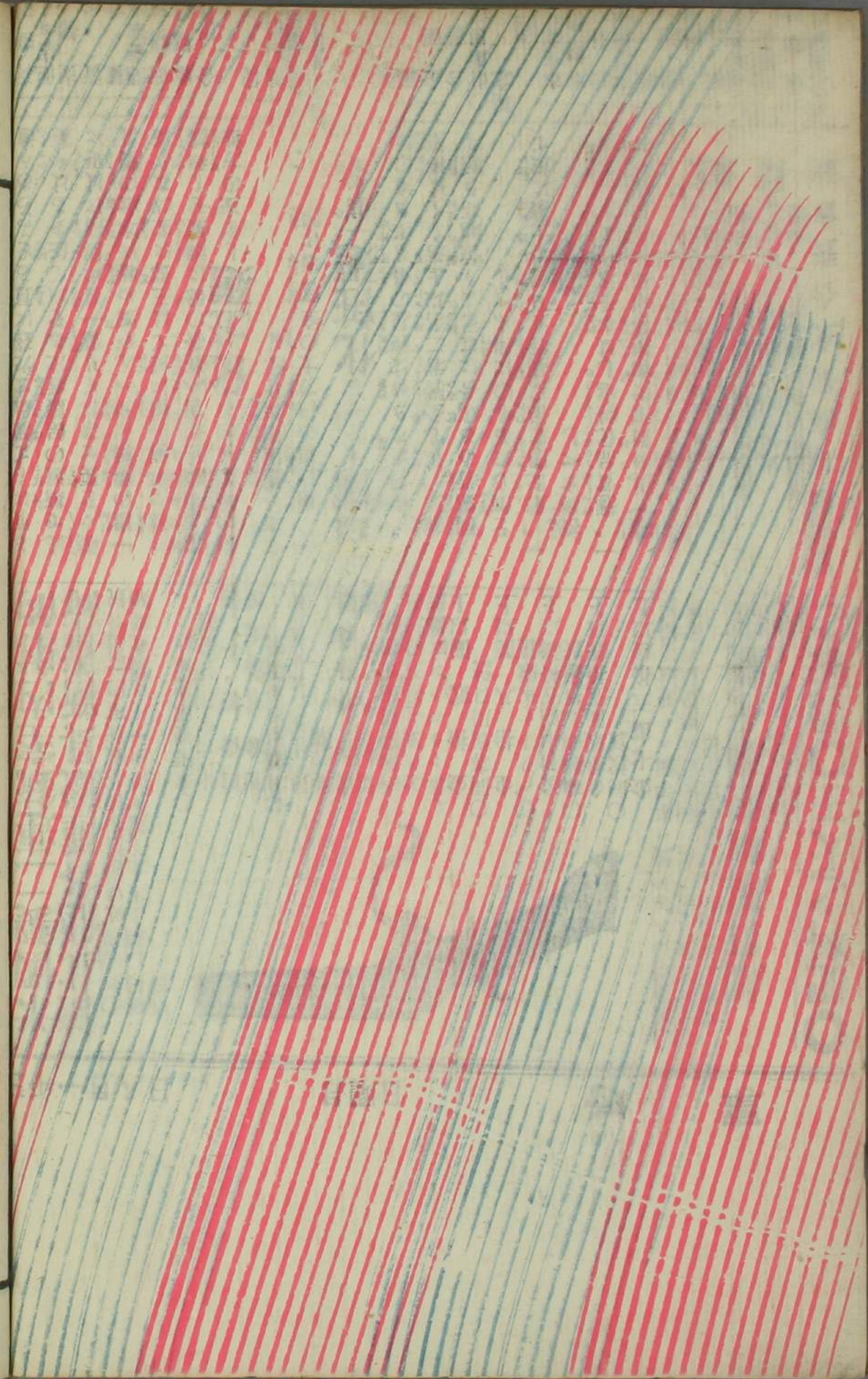
あゆ乃とねあま

はまえればかた

ちる家みよきた

浄蓮一月か

大正五年四月  
空井平藏氏



源宗于朝臣

山里也

おをそけいひしと

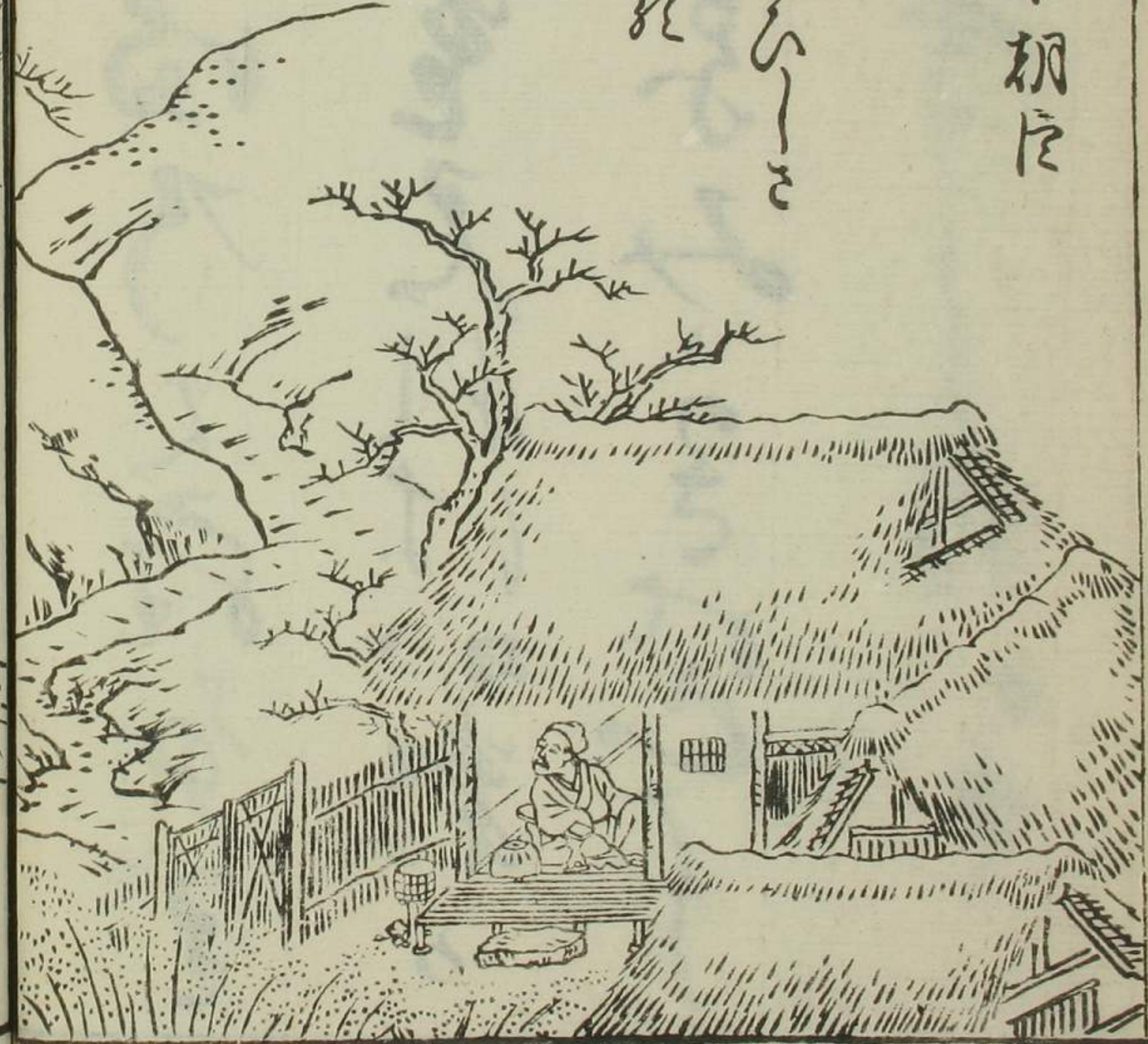
海さるふれ

人しと

原也

おのこ

あつと



山に雲ありて  
松の影を  
うけしる  
はるかな  
とて









此の川は...  
 月夜...  
 神...  
 山...

坂上足別

新...

有...の月也

尺...  
 尺...  
 尺...

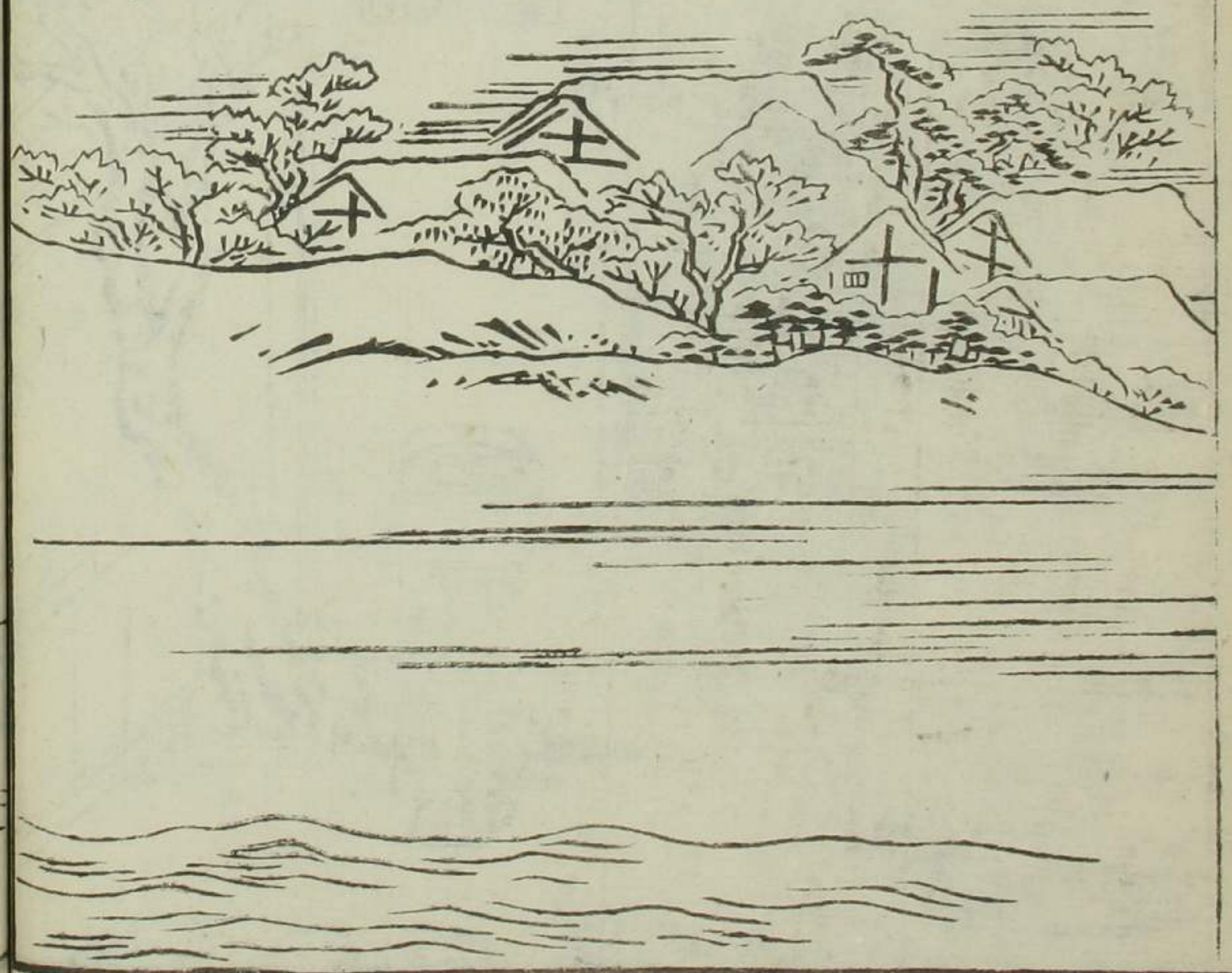
尺...  
 尺...  
 尺...

神

里

婦

書



春道列樹

山川の風の

ふけさる

あつらふ

をれと

あふぬ

みまなり

まな



けちろのふゆの風の木はあそ  
ひまけくゆさうけらあめ  
あつらふとせりて流るあふぬ  
ていまり風のうきさるあつら  
ゆきのをくはれはなれあふ  
ぬりまらなれとつらとまきと  
といまれとあつらふ

春の  
みまなり



紀友則

久々れ

初つを

のときれ

えの

目

あひ

花

う

けころあめれにそれのちりゆらこしは  
 かのめしんもろぞのりくそしゆれ  
 そまのちげうにもをくちろゆれ  
 五しり入幸あり





友原真風

奇神とて

ある人ふ

見え

う妙

松も  
の

サレ

友

の



はてしなく松の影をみてあつたかたはなまなり或はなげしあつた  
もゆきのなれんふあつたかたはなまなり或はなげしあつた  
こころなまなりやなれんふあつたかたはなまなり或はなげしあつた  
みよはなげしあつたかたはなまなり或はなげしあつた  
なれんふあつたかたはなまなり或はなげしあつた  
なれんふあつたかたはなまなり或はなげしあつた



清涼涼堂父

夏の夜を

ゆるよみ

きく

あやめると

きく

いけい

月の中

せん

いづれにやの月のあり  
中とにみちを月をうであれ  
そめいこまにさき  
ありいさやにさき  
すまのいづれにやの  
いづれにやの



又屋朝康

白雲

風の明

あれた

孫

ほつわ

とん

あそ

ちり

る

けこらん杖の  
おえしつれぬ  
うきこの  
まのよまこ  
おの風のち  
いんがちり  
あつてぬけ  
あつてぬけ  
あつてぬけ  
あつてぬけ



けりあはれはくまのりか  
そがとくどしそらうい  
かふはわたりといひ  
人のこゝろめてあふん  
けくまのりよは  
あふり



右近

あふり

あふり

あふり

人乃命

あふり





平兼盛

あつらひ

きよみ

わりの

よのや

くお



人あつらひ  
 出まわり  
 けり  
 人あつらひ  
 出まわり  
 けり  
 人あつらひ  
 出まわり  
 けり

